

科目名	陶器実習 I		科目コード	1632	
開講学科	美術学科	単位数	4 (計)	形態	実習
教員名	田嶋 悦子				
授業の目的及びテーマ：					
陶芸をこれから学ぶ上で、まず造形表現における重要技法である手びねり成形を中心に、形態づくりの基礎を習得する。そして制作により体験する粘土の様々な性質を知り、各自の作品表現への可能性を追求する。					
授業概要					
陶芸の様々な技法を多くの写真により解説し掲載されている。特に海外のめずらしい表現豊かな数多くの作品が紹介され、これから陶芸を始める方々には、機能性のみこだわりのではなく、楽しく制作できるように指導されている。 教科書を参照しながら、各自の個性あふれる作品を制作してください。					
授業計画：					
【通信課題】					
自習課題 ①「陶板にスタンプングをする」					
内容…ソフトボールより少し大きめの粘土を手の平で、厚さ 1cm 程度に均一に叩き伸ばす。そして身の周りにある様々なものを陶板の表面に押し付ける。(スタンプングする。)また、櫛で表面を撫で付いたり、棒に紐を巻きつけたものを転がしてみたりと、各自のアイデアを加えながら陶板の表面にいろいろな表情を作ってみてください。					
自習課題 ②「粘土の塊にスタンプングする・角柱」					
内容…粘土 5kg より高さ 30cm の角柱をつくります。そして切り糸を使って角柱を水平 4 カットし、 <u>カットした面以外の側面にスタンプングを行い再構成</u> します。再構成する際にカットした面を多少ずらして、形全体に変化をもたせてみる。					
第 1 課題 「粘土の塊にスタンプングする・円柱」					
内容…自習課題②の「粘土をスタンプングする・角柱」を基本に、今回は粘土 5kg より高さ 30cm の円柱を作ります。そして切り糸を使って自由にカットします。次に全体のバランスを考えながら <u>カットした面以外の側面にスタンプングをし、構成</u> します。 <u>構成する際にカットした順番通りに再構成しなくてもよい(順序を変えてもよい)</u> 。大胆な動きのある形を構成してください。今回、構成する際には信楽粘土の泥を使って十分に接着させます。					
提出… <b>提出あり。第 1 課題の提出をスクーリング受講資格とします。</b> (スクーリング受講要件一覧を参照) 写真 3 枚(角度を変えて撮影したもの)を、A4(縦位置)用紙に貼付して提出してください。その際、スタンプングに使った材料を明記すること。なお、写真が不鮮明な場合は採点できません。はっきりと写っている 2L サイズ程度の写真を提出してください。					
第 2 課題 「膨らみのある形・手びねり技法」					
内容…円筒形を基本とし、高さ 30cm 程度の膨らみのある形を手びねり技法で 2 点制作する。					
提出…制作した 2 点のなかで各自が気に入った作品 1 点を提出。 ( <u>完全に乾燥した状態で提出</u> 。作品の裏に学生番号、氏名をヘラなどで刻み入れる)					

テキスト	「陶芸の基礎 POTTER basics」 ジャッキー・アトキン著 (スタジオタック クリエイティブ)	参考文献：	「陶芸道具の選び方・使い方」 小笠原規恵・豊田すみお／著 誠文堂新光社／出版
評価方法：			
<p>通信授業は提出課題(2件)を以って評価する。</p> <p>面接授業は受講態度、授業中提出物などにより総合的に評価する。</p>			